

《履修上の留意事項》本講義は、留学生を対象とした初修外国語の授業である。日本語がネイティブの一般学生及び日本語能力検定1級(N1)を有する留学生を対象としない。

《担当者名》非常勤講師/シルヴィア・オレーヤージュ

【概要】

本講義では、日本語で行われている大学講義の理解に必要なアカデミック・ジャパニーズの習得及びそのスキルアップを目的とする。あわせて、留学生にとって理解が難しい、学術的な日本語表現方法に関する理解を深める。実践日本語(1)～(10)では、本学講師の実際の講義映像を用い、聞取りを中心とした内容確認を行う。日本人講師特有の話法・表現方法を確認しつつ、講義のポイント・講師が強調したい点に意識を向けるように錬成する。あわせて、講義内容を要約し理解を深める。日本語4技能のうち、Listening及びWriting技能向上を主に目指す。

【学修目標】

- 解説に用いられる特有の学術的日本語表現を理解する。
- 留学生にとって理解の難しい日本語表現を認識する。
- 日本人に特有な説明時に用いられるジェスチャーを理解する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	実践日本語序論	・一般的な日本語(日常会話)と学術的な日本語の差異を理解する。 ・講義の説明で用いられる特有の日本語表現を理解する。	シルヴィア・オレーヤージュ
2	日本語表現と他外国語との差異	・留学生の母語と日本語の違いを認識し、母語の影響で理解が難しくなる日本語表現、聞取りが難しくなる日本語表現を理解する。	シルヴィア・オレーヤージュ
3	実践日本語初級(1)	・実際の講義を聴き取り、内容を理解し、講義内容の要約を作成する。	シルヴィア・オレーヤージュ
4	実践日本語初級(2)	・実際の講義を聴き取り、内容を理解し、講義内容の要約を作成する。	シルヴィア・オレーヤージュ
5	実践日本語初級(3)	・実際の講義を聴き取り、内容を理解し、講義内容の要約を作成する。	シルヴィア・オレーヤージュ
6	実践日本語初級(4)	・実際の講義を聴き取り、内容を理解し、講義内容の要約を作成する。	シルヴィア・オレーヤージュ
7	実践日本語初級(5)	・実際の講義を聴き取り、内容を理解し、講義内容の要約を作成する。	シルヴィア・オレーヤージュ
8	中間確認テスト	・(1)～(5)を基礎とした聞取りテスト、要約テストを通じ理解を深める。	シルヴィア・オレーヤージュ
9	ターミノロジー	・医療系学術用語における日本語の単語構成・文構成を理解する。	シルヴィア・オレーヤージュ
10	実践日本語初級(6)	・実際の講義を聴き取り、内容を理解し、講義内容の要約を作成する。	シルヴィア・オレーヤージュ
11	実践日本語初級(7)	・実際の講義を聴き取り、内容を理解し、講義内容の要約を作成する。	シルヴィア・オレーヤージュ
12	実践日本語初級(8)	・実際の講義を聴き取り、内容を理解し、講義内容の要約を作成する。	シルヴィア・オレーヤージュ
13	実践日本語初級(9)	・実際の講義を聴き取り、内容を理解し、講義内容の要約を作成する。	シルヴィア・オレーヤージュ
14	実践日本語初級(10)	・実際の講義を聴き取り、内容を理解し、講義内容の要約を作成する。	シルヴィア・オレーヤージュ
15	期末確認テスト	・(6)～(10)を基礎とした聞取りテスト、要約テストを通じ理解を深める。	シルヴィア・オレーヤージュ

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

課題中に課す課題・宿題・授業への取組み等（30%）

リスニング中間確認テスト（20%）

リスニング期末確認テスト（50%）

【教科書】

講義で使用する資料は、必要に応じて講義毎に配布する。

【参考書】

講義で使用する参考資料は、必要に応じて講義毎に配布する。

【備考】

特になし。

【学修の準備】

講義内容に関し復習を怠らない。特に、聞き取りにくかった表現、分りにくかった表現が、なぜ困難であったかの原因究明に務める（20分）。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

DP2.「患者中心の医療」を提供するために必要な高い倫理観、他者を思いやる豊かな人間性および優れたコミュニケーション能力を外国語の観点から身につける（プロフェッショナリズムとコミュニケーション能力）。DP5.歯科医療の専門家として、地域的および国際的な視野で活躍できる能力を身につけるために必要な知識を外国語の観点から修得する（社会的貢献）。

【実務経験】

2016年より大学院生を対象に日本語教育を実施（教育歴7年）。2021年日本語教師資格取得（養成講座420時間総合コース修了証取得）。

【実務経験を活かした教育内容】

外国人講師であるが故に、自身の日本語学習において困難に直面した経験から、なぜ、留学生にとって、特定の日本語表現・文法がわかりにくいのか、なぜ、大学での講義内容が聞き取りにくいのか、それらを教育内容に活かすことができるとの強みがある。日本語ネイティブにとって「当然」と考えられていることへの説明を日本語初習者は欲している。日本人講師では気付きづらい点への説明は日本語初習者の理解を大きく助ける。